



2026

総合 I

[国語]

注 意

1. 試験時間は、国語と社会を合わせて8：50～9：40の**50分**です。
2. 問題は㊦から㊧まであります。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を2枚とも表にして、並べておきなさい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

落ち穂ひろい

仕事にあつて、技術にないものは山ほどあります。その理由は、技術は仕事から取り出されたのではなく、まったく別のものだからです。

I、こつという説明ではわかりにくいでしょう。田植機で苗を移植する技術は、田植えという百姓仕事の発展したものであるかのように考える人のほうが圧倒的に多いからです。しかし、^①手植えにあつて、田植機での移植にないものは何だろうかと考えないから、そういう説明で納得してしまうのです。

多くの百姓のおばあさんが、田植えは楽しかったと言います。II、田植えをしなから、みんなと話に花が咲いたからです。ごちそうも用意されていました。

しかし、田植機での移植には、歌も会話ありませんし、そもそも早乙女が植えるほうが稲はよく育つのだという習慣もなくなっています。それは、一人でもできるように、労働時間を節約するために、ただひたすら生産性を上げるために、そういう精神で手植えにおきかえるために開発された技術だからです。

田植機によって節約された時間は、どこで使われたのでしょうか。田植機を買うための農業以外への稼ぎに使われました。あるいは農業経営の規模を大きくするために使われました。また、稲作以外の野菜や果樹や畜産をはじめするために使われました。III、分業に使われました。けつして、余裕ができた時間で遊んだりゆつくりするためではありません。その証拠に、田植えのあとや稲刈りのあとに、年寄りたちが温泉に泊まりがけで何日も出かけていた習慣はなくなりました。

私は、田植機の出現などの農業の近代化によってよくなったことばかりを、農政や農学が言い立てることに反発を抱いて、少年時代と青年時代を生きてきました。なぜなら、近代化によって失っていく②世界の豊かさが身にしみるからです。だからこそ、得られたものと失ったものを天秤にかけるぐらいのことはしておきたいのです。仕事が新しい近代化技術におきかえられていくことによって、何をなくしたのかを考えれば、仕事と技術のちがいはわかるでしょう。

数年前、近所の九三歳になるお年寄りの百姓夫婦に、落ち穂ひろいの話を聞いて、飛びあがるほど驚きました。

落ち穂ひろいという仕事は、コンバイン（稲を機械で刈りとって、稲をわらから落とす機械）の登場で、なくなりました。むしろこの自動収穫機械の登場によって、田んぼに落ちる籾や麦粒の数は増えたのですが、なにしろ穂として落ちるよりも、粒で落ちるために、ひろい

にくいのです。穂なら一穂ひろえば一〇〇粒はついているのですが、一〇〇粒を田んぼの中でわらをかきわけてひろうのは大変でしょう。何よりも落ち穂ひろいは、それほどの経済的な価値を生みださないので。

それでは、^③かつての落ち穂ひろいは、何のためにおこなわれていたのでしょうか。フランスの画家ミレーの『落ち穂ひろい』という有名な絵があります。あの麦の落ち穂ひろいをしているのは、麦畑を耕作してきた百姓ではありません。近所の百姓でない貧乏な人たちののです。キリスト教の精神では、麦は神からの恵みです。それを独占するのではなく、貧しい人たちとも分かちあうという気持ちがよくあらわれていて、感動します。しかし、それはキリスト教の普及した国のことであって、日本ではそういうことはないだろうと思っていました。しかし、気になってたずねてみました。

「昔は、落ち穂ひろいはどうしていたのですか」
すると、すぐに、

「落ち穂ひろいは百姓はしてはいけない、というしきたりだった」という答えが返ってきたのです。驚いた私は、

「ええっ、どうしてですか？」
とさらにたずねました。

「稲刈りが終わりにかけるときには、もう畦に袋をもった人たちが待っていて、私たちが引き上げるとさっと田んぼに入ってきて、ひろいはじめていた」
と言うのです。

現代では落ち穂であっても、その田んぼの百姓の所有物です。他人が無断でひろっていたら、窃盗になるでしょう。ところが、かつては米は天地（自然）からのめぐみだというのが日本人の農業観でした。前にも述べたように、百姓はけっして米を「X」とは言いませんでした。「とれる」「できる」と言った意味がわかるでしょうか。人間が主役ではなく、百姓はめぐみを受けとるのです。したがって、百姓だけが独占的に受けとるのではなく、貧しい人と天地のめぐみを分かちあっていたのです。じつにキリスト教の精神と似ています。日本と西洋と離れていても、百姓という仕事の共通性に^④胸が熱くなります。

このように、稲刈りという仕事には落ち穂ひろいがくっついていました。コンバインによる稲の収穫技術にはそれがありません。これも仕事と技術のちがいです。

農業技術に欠けているもの

農業技術は、百姓仕事にあったものの多くを捨ててこそ成立しました。そういうものにまといつかれたくなかったのです。田植え歌や落ち穂ひろいのことを考えていたら、田植えや稲刈りに変わる技術は形成できなかったからです。それによって、^⑤農業は大きな「進歩」をはたしました。農業もほかの産業と同じように、生産性という尺度で優劣を比較できるようになったのです。たんなる所得や収量で比較していたものが、生産性で比較できるようになっていきました。

昭和三〇年代から四〇年代のはじめまで、朝日新聞社の主催で、当時の農林水産省の後押しで「米作日本一」の表彰がおこなわれていました。

(中略)

この時代までは、まだ技術と仕事が分離してはいなかったのかもしれませんが。しかし、すでにその兆しはあらわれていました。そもそも国家の要請によって、この多収のコンクールはおこなわれていたのであって、あくまでも外部からもたらされた動機ではじまり、盛り上がったのです。米の収穫量が日本一になることが、どうしてそんなに重要なことなのでしょう。ここにはすでに、落ち穂ひろいや田植え歌の世界はもうありませんでした。まして、田んぼのオタマジャクシやトンボにとつて、何の意味があったのでしょうか。ようするに、技術に欠けているものは伝統的な世界観です。それは自然観と人生観を含みます。現代の技術にはこの両方がありません。あるのは、これにかわった経済観と人間中心主義です。

(宇根豊『農は過去と未来をつなぐ——田んぼから考えたこと』による)

(注1) 早乙女：かつて、田植えをする女性の呼び名として使われていた。

(注2) 前にも述べたように：この文章の、この試験に載せた部分より前で、著者は日本人の農業観について説明している。

問一 空欄Ⅰ～Ⅲに入る言葉としてもっとも適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

ア なぜなら イ あるいは ウ しかし エ つまり オ ところで カ さらに

問二 空欄Ⅹに入る言葉を、自分で考えて答えなさい。

問三 傍線部①「手植えにあつて、田植機での移植にないもの」とありますが、A「手植え」・B「田植機での移植」は何を表す具体例ですか。本文中から言葉をそれぞれ一つずつ抜き出して答えなさい。

問四 傍線部②「世界の豊かさ」とありますが、本文中における「世界の豊かさ」の一例としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 田植機での移植をして生産性を上げ、人々の食事に米を安定して供給すること。
- イ 田植機で効率的に作業を行い、余った時間を用いて旅行や温泉に出かけること。
- ウ 手植えのかわりに野菜を栽培して、栄養バランスのとれた食生活につなげること。
- エ 手植えの作業中に仲間とコミュニケーションをとり、よい関係性を築くこと。
- オ 手植えをして収穫した米を供給し、消費者に向けて生産者の苦労を伝えること。

問五 傍線部③「かつての落ち穂ひろいは、何のためにおこなわれていたのでしょうか」とありますが、何のためですか。その理由としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 粒で落ちてしまう収穫機械よりも、効率的に収穫作業をするため。
- イ 粒でなく穂のまま拾うことで、少しでも経済的な価値を生むため。
- ウ 恵みである落ち穂を、百姓だけでなく貧しい人にも分け与えるため。
- エ 売り物にできない落ち穂を、貧しい人たちに安く売ってあげるため。
- オ 人々に落ち穂を拾わせ、働き手を確保し皆で労働を分かち合うため。

問六 傍線部④「胸が熱くなります」とありますが、このときの筆者の心情を六十字以内で説明しなさい。

問七 傍線部⑤「農業は大きな『進歩』をはたしました」とありますが、「進歩」という言葉にはかきかっこがついています。ここから読み

取れる筆者の考えの説明としてもつとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 現代における農業技術の発展は、収穫した作物の品質改善にもつながったと考えている。
- イ 農業技術を用いて栽培した作物よりも、手作業で栽培したもののの方がおいしいと考えている。
- ウ 農業技術が進歩したことで農作業の効率化が進み、労働力の削減さくげんに成功したと考えている。
- エ 機械を使った農業技術が時代とともに広まる中で、手作業に使う道具も進化したと考えている。
- オ 農業技術の向上は、百姓仕事における大切な価値観きせいの犠牲ぎせいの上に成り立つたと考えている。

問八 本文中の点線枠わくで囲まれた部分について、あとの問いに答えなさい。

(i) 現代の農業に欠けている考え方を四十字以内で説明しなさい。

(ii) 現代の農業が有している考え方を四十字以内で説明しなさい。

二

次の語句・漢字についての問いにそれぞれ答えなさい。

問一 次の①～③について、波線部の言葉の意味としてもっとも適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

① 自分の秘密を妹だけにほのめかす。

ア うそを伝えること。

イ 小さな声で言うこと。

ウ それとなく示すこと。

エ 見つきりそうでごまかすこと。

オ 聞いてほしくて話題を振ること。

② 成績も上がって飛ぶ鳥を落とす勢いだ。

ア 文武ともに実力がつくこと。

イ 一時的な勢いでしかないこと。

ウ 周囲への態度が大きくなること。

エ 勢いや権力が圧倒的であること。

オ ものすごいスピードで変化すること。

③ 仏の顔も三度で、謝ってすむ話ではない。

ア ふだんは優しい人でも、何度もひどいことをされれば怒ること。

イ 表面上は良い人に見えても、そのうち本音が出てくること。

ウ 失敗をくり返してばかりではなかなか成長できないということ。

エ 相手の顔や様子をじろじろ見ることは失礼にあたるということ。

オ 位が高い相手に対しては普段からいねいに接しないといけないこと。

問二 波線部について説明したあとの意味を参考にして、空欄X・Yに入る適当な言葉を漢字一字で答えなさい。

① 列車が止まったので臨機応(X)にバスで出かける。
……その場にに応じて適切な手段をとること。

② (Y)が酸っぱくなるほど注意したのに直らない。
……同じことを何度もくり返して言うこと。

三 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- ① コンクールの受賞の連絡を受けたがジタイした。
- ② 将来どこの会社にシユウシヨクするか考える。
- ③ 列車がオウテンする事故だった。
- ④ ウチユウセンに乗って火星に向かう。
- ⑤ 秋のユウグレに飛ぶ鳥は風情がある。

[国語の問題はここまでです。]



注意
字数制限の問題では、句読点も一字として数えます。

⑤	①	問二	問一	問 八				問七	問 六				問五	問四	問三	問二	問一	
れ		X	①	ii		i										A	X	I
		②	Y	②														II
																B		
				③														III
		③																
		④																

受 験 番 号	フリガナ	
	氏 名	

得 点	
-----	--

注意
も一字制限の問題では、句読点
も一字として数えます。

三

二

一

②×5

①×2 ①×3

⑥

⑥

④

⑧

④

④

②×2

③

②×3

⑤	①
夕暮 (れ)	辞退
	②
	就職
	③
	横転
	④
	宇宙船

問二	問一
X	①
変	ウ
Y	②
口	エ
	③
	ア

問八				問七	問六				問五	問四	問三	問二	問一
ii		i		オ	と	り	場	百	ウ	エ	A	X	I
人	を	農	統	が	に	ス	で	姓			仕事	つくる	ウ
間	向	作	的	ら	感	ト	あ	は					
中	上	物	な	農	心	教	る	天			B		ア
心	さ	の	世	業	し	の	と	地			技術		III
主	せ	収	界	を	て	国	い	か					
義	る	穫	観	行	い	と	う	ら					
。	こ	量	。	っ	る	で	考	恵					
	と	を		て	。	共	え	み					
	を	増		き		通	が	を					
	最	や		た		し	、	受					
	優	し		と		て	日	け					
	先	、		い		い	本	取					
	と	生		う		る	と	る					
	す	産		、		こ	キ	立					
	る	性		伝									
				な									

受験番号	フリガナ	
	氏名	

得点	
----	--